

健康で安全な生活のために

～私たちにできることを考えよう～

校種・学年	小学校 第3学年	教科等	学級活動
時間・学期(月)	1時間・2学期(11月)	副読本	P4「世界の平均気温の推移」
準備等	事前アンケート、映像資料・写真資料等、家庭や地域への情報提供		

1 わらい


健康で安全な生活を守るために、日常の生活について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法等について考えるとともに、環境に対して自分にできることを実践しようとする態度を育てる。

- 2 伸ばしたい資質・能力**
- 様々な情報を活用して、自らの課題を解決する力
 - 自分が伝えたいことを相手に伝える力
 - 相手の立場に立って考える力

3 指導計画(本時)

時間	主な学習活動・内容等
事前	○ 事前アンケートを実施する。自然災害について児童に説明し、児童の実態把握を行う。今後の学習の見通しをもつ。
1	○ 自然災害の原因を考え、環境を守ることが、自分たちの健康で安全な生活を守ることにつながると気付く。その上で、自分たちにできることを考える。
事後	○ 2週間後に自分の取組についてふりかえる。

4 本時の学習指導(本時)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5 32	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果から気付いたことを話し合う。 ○ 導入の写真で見た豪雨等の原因について話し合う。 ○ 本時の課題を知る。 	<p>★ P4「世界の平均気温の推移」</p> 
8	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">健康で安全な生活を守るために、自分たちにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちにできることを話し合う。 ○ 話し合ったことを参考にして自分のめあてや実践することを決定する。 	

5 他教科等とのつながり	6 社会とのつながり
<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生算数「一億までの数」 ○ 3年生体育(保健)「健康によい環境」 ○ 3年生社会科「くらしを守る」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の教育施設や人材資源の活用 ○ 家庭や地域の人たちとの対話

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 家庭や地域の方に、調べたことを伝えるとともに、これからについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを考えて、自己決定させる。実践後、必ず振り返りを行うことで、継続して環境に対して意識して生活できる。
- 自分の考えの変容が具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用する。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 保護者から 「ごはんを残さないようになった。」
「嫌いな食べ物をひとくちでも食べるようになった。」
- 児童 「自分にできることをつづけます。」
「『教室クリーン係』をつくります。」…今も実践している。
「副読本を前より読むようになった。おもしろくなった。」
「図書室でほかの環境の本を見つけてかりました。」

9 研究協議の内容

（感想等）

- 児童は、台風19号の影響で、実際に避難するという経験をもとに、今回の課題について、「自分のこと」として捉えることができている。今後も、児童の身の回りの出来事を取り入れるなど工夫し、授業改善をしていく。
- 児童の話合いがよくできていた。児童に「何を考え、話し合えばよいのか」を明確に示し、考えやすく話しやすい教室環境を整えていく。